

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマ設定理由>

〇キッズタウンむかいはら保育園にはクラスの本棚の他に絵本コーナーが3ヶ所があり、特に2階の絵本コーナー（30㎡）には、子どもが自由に好きな絵本を選べる環境を作り『絵本』に力を入れている。

『絵本』を通して興味関心を広げたり、調べたいという探求心、物語からの表現力や情緒など感情について、文字や言葉の獲得など成長には欠かせないツールのため、子ども達の絵本好きをより深めたり、いつでも読みたい絵本コーナーの作製を行う。

〇板橋区が『絵本のまちいたばし』として絵本に力を入れており、毎月図書館の読み聞かせや区からの各家庭に赤ちゃん絵本の配布など子ども達は絵本にふれる機会が多く保育園でも開設当初から絵本に力を入れ大切にしてきた。改めて子ども達、職員共に絵本について考える機会にする。

<内容>

〇子ども達中心に新しくデザインした絵本コーナーにすることでより絵本を好きになったり、家具や絵本の変化によりわくわくな発見を高めたり、発見を次に生かし良いものに変化を続ける様々な検討を続けていくことで空間にどんどん良いものする。

〇絵本について子ども達一人ひとりやみんなで色々なアプローチで考えたり、共有したり、表現したりしていく中で絵本について深く探求する機会をつくり絵本を通しての心身の成長につなげたり、絵本を読み解き表現や製作等に生かしていく。

2. 活動スケジュール

①あたらしい絵本コーナーどうやって使おうかな

今までの話し合いで子ども達から出た設置したい家具や物、空間などを絵本コーナーに設置し環境を整え、クラスごとや異年齢で絵本コーナーを使う中で子ども達の様子を観察する。

②だいすきなえほんをみんなに紹介

昨年から今まで以上に絵本について子ども達と考えたり、絵本に触れる機会が増えてきたので、子ども達からも「この絵本おもしろいよ」、「これみんなで読もう」などお互い絵本を紹介したり、自分の好きな絵本をみんなに伝える姿が見られていて、その気持ちを大切に、他のクラスや保護者にも伝えるように絵と文字で『ぼくのわたしのおすすめ絵本』として紹介できるコーナーを作成する。

③絵本コーナーを綺麗に使おう

靴を脱ぎ芝生コーナーを作ったが上履きの脱ぎ方や靴箱の入れ方が雑然としているのでその改善を子どもたちから提案、制作してもらう。

④絵本を作ってみよう

絵を描くことも大好きな年長の子も達 1 枚の紙にいろいろな物語を込めて描いているので絵を描く紙を冊子状にし、オリジナルの物語や絵本を作成し、全体へ読み聞かせや発表、披露する場面つくる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

③絵本コーナーを綺麗に使おう

靴を脱ぎ芝生コーナーを作ったが上履きの脱ぎ方や靴箱の入れ方が雑然としているのでその改善を子どもたちから提案、制作してもらう

画用紙を用意しグループごとに他の子にもわかるシートを作成する。

絵の具、スタンプ台、さまざまな材質の紙、紐などの薄い廃材を使用し目印にする

4. 探究活動の実践

(活動内容)

誰もがわかる並べることができる綺麗な下駄箱

上履きを綺麗に入れられる目印となるシートを作ってみよう。

自由な表現で足形、靴型を作成し、園児が靴をわかりやすく並べることができるようにする。

(活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育士とのやり取り)

5 歳児女児より絵本コーナーの上履き棚にみんながぐちゃぐちゃに靴を入れているのを見て「汚いよ」と怒っている声を聞いて5歳担任が子どもたちみんなを集めて他のクラスはどうしているか、どうしたら綺麗に上履きが入るかサークルタイムを設け話し合いを行う。

他のクラスの様子は先生に聞きにくい子や異年齢で遊んだことを思い出しどのクラスの上手に入れていないことを皆で共有する。

どうやったら綺麗に入れられるかの話し合いで初めに多かったのは棚に板を立てて仕切ろうと言う声だったが上履きは小さい子もおきい子もいるからと言う意見が出てき。その後は印をつけようと 1 人の子が発してからどんな印にするかを話し合う。靴の形や足の形という意見が大半でそこからグループごとに足形のシートを作り棚に並べることとなった。

足形は自分たちの足の大きさにしたいという声から画用紙の上に相手の足を鉛筆でかたどり準備していった。今年度マスキングテープを使って大きなシートに絵描いた経験からテープを使って足に模様をつけようという子ども達と色塗りたい子に分かれ決まらず、下書きまででその日の時間が終わってしまった。

続きは後日の予定だったが数日後に子ども達は上野動物園にお別れ遠足に行きめいっぱい楽しみたくさんの動物たちに触れてきた。戻ってきてから足形作成の続きをするとみんな「動物にしよう」とみんな同じ意見で職員ははっきり動物の足形にするのかと思ったがそうではなく自分の足の形を利用して動物を表現するものだった。

完成し、動物のシートとして敷いてみると他のクラスの子も達からは「僕はライオンにそろえるよ」「今日は象にする」など目印ができたことで綺麗に並べることができた。

(写真)

☆5歳児



(振り返り 気づき)

自分の足の形を引き、色付けテープかで話していた子ども達は楽しい経験を通して上手に製作に落とし込み作り上げているの素晴らしかった。製作の大好きな学年だったので廃材などを使っての製作になるのかなとの予想で職員は動物園からは動物の足形になるかなと思っていたが子ども達の創造の力はたくましく足の形を動物に目を輝かせてながら絵描いていた。

職員の予想とは違う方向に進んだ時も職員がそのひらめきを止めずにできたこともとても良かった